

はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和3年 3月 第15号】
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

ある映画のワンシーン！

「君にとって生きるってどういうこと？」と聞かれ、主人公がこう答えます。

『誰かと心を通わせること』

『認める、好きになる、嫌いになる、誰かと一緒にいて手をつなぐ、ハグをする、すれちがう……、自分一人では生きてるってわからない』

『好きなのに嫌い、楽しいのにうっとおしい、そういうまどろっこしさが 人との関わりが 生きてるってことだと思う』

子ども達にとっての学校生活も、人との関わりとの連続です。友だちと、仲間と、先生や先輩たちと、etc…。

決して楽しいことばかりではありません。心地良い心の通い合いばかりでもありません。誤解やケンカ、すれ違い、etc…。

嫌になったり、心苦しくなったり、逃げ出したくなったりすることもあるけれど、大切なことは…、子ども達にとっては、前向きな心、リフレーミング的な考え方かなあ？

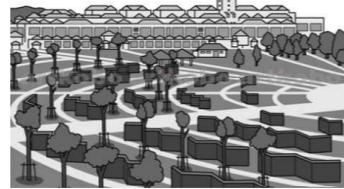
6年生は中学生に、1～5年生もそれぞれ進級します。新しい出会いが始まります。人との関わりを自分の成長への糧にするためにも、いつも前向きな心でいたい。そのためには、保護者や我々教師や大人は、常に子どもの思い、心の声を聴きたい。寄り添い、楽しいことはともに喜び合い、悲しくつらいときは、そのつらさをわかってあげたい。そして、「すべての経験や体験はあなたの成長につながると思うよ」とメッセージで伝えられたらと思います。友だち、特に親友と呼べる人、そういう人が一人でもいたらなあ。

今週でほぼすべての授業が終わります。来週は卒業式、修了式…令和2年度が終わろうとしているのです。

「出会うために別れる」「始めるために終わる」よりよい出会いとスタートに向け、いよいよラストスパート。有終の美を飾るための1週間になりそうです。

6年生、1月に社会見学、今月は卒業遠足に行ってきました！

1月14日(木)、6年生は平和祈念資料館へ社会見学に行ってきました。社会科や総合的な学習で学んだ沖縄戦や平和について、実際に実物や資料を見たり、資料館の先生のお話を聞いたりして学びを深めたのです。学んだ後は資料館のすぐ近くにある公園でのびのびタイム。今年度初めての屋外でのお弁当は、保護者の方の愛情がいっぱい入って、お腹も、心もいっぱいになる、格別な味だったことでしょう。また、今月8日(月)には、卒業遠足でこ



どもの国に行ってきました。修学旅行も中止になってしまい、せめてもの日帰りツアーです。たくさんの動物たちと出会ったり、学校とは違う広大な敷地でのびのびと交友を深めたりしました。施設内のワンダーミュージアムでは、最新の科学技術を目の当たりにしそして体験する中で、これからのスマート社会が少し具体的に見えてきたのではないのでしょうか。



バスも1席ずつで感染対策



平和について学びました



屋外でのお弁当は格別！



子どもの国にいざ入国！



たくさんの動物たちと出会いました



もうすぐ卒業式、そして令和2年度の修了

令和2年度の教育課程も残すところ4日間となりました。この1週間の子どもの登校の様子などを見ると、何だか元気がないな、と思っていました。ところが、よくよく観察していると、これは年度の終わりの寂しさというか、おもむきというか、子ども達も子ども達なりに、学年の節目のもの悲しさを感じているのかな？と思いました。校舎内には卒業ムードの掲示物が貼られ、卒業生の門出を祝うメッセージや、卒業生から在校生へ「あとは頼んだぞ！」という激励のメッセージが飾られています。もうすぐ卒業式、そして令和2年度も修了します。



座安フレンズ男子優勝！見事有終の美！！



今週の月曜日、優勝旗のケースを持ち、意気揚々と登校する姿を見て、「お～！すごい、優勝したのか！」と嬉しくなりました。10月末の島尻大会での3位からスタートし、11月には同大会で準優勝、12月には県大会で3位、そして今月最後の島尻大会で見事優勝の栄冠です。この結果はきっと後輩達につながっていくことでしょう。おめでとうございます。